

第24回日本摂食嚥下リハビリテーション学会 学術大会 出展レポート

日本介護食品協議会では、昨年に引き続き本学会の企業展示に出展しました。本学会の来場者属性は、摂食嚥下のリハビリテーションに関わる医師、歯科医師、看護師、栄養士・管理栄養士、言語聴覚士(ST)、作業療法士、歯科衛生士など多職種にわたります。今回はこれら職種が全国からおおよそ5,700名参加しました。

出展企業については食品企業の他、医療機器メーカーなど関係企業を合わせておおよそ96社、このうちのおおよそ43社が食品企業となります。本会および会員企業は計22社であり、食品企業出展社のおおよそ半数を占めました。

今回、協議会小間では、資料配布と認知度調査を実施しましたが、認知度調査では2日間で150名のみなさまにご協力いただきました。以下、調査内容の一部をご紹介します。

Q. あなたの職種を教えてください

今回アンケート調査を行うことができた職種を見ると、ST33.3%、看護師30.1%、栄養士・管理栄養士10.5%の順に多く、続いて歯科衛生士、歯科医師、医師の順に多かったです。今回はこれら上位3職種についてUDFの認知率を見てみます。

Q. UDF (ユニバーサルデザインフード) とは何かご存知ですか？

全体では、「知っていた」76.7%、「名前だけは知っていた」15.3%と合わせて、92.0%がUDFを認知していました。昨年については、89.2%でしたので、2.8ポイント増加しています。各職種の認知率を見ると以下の通りでした。

- ST 「知っていた」70.6%、「名前だけは知っていた」23.5%で計94.1%。
- 看護師 「知っていた」78.3%、「名前だけは知っていた」13.0%で計91.3%。
- 栄養士・管理栄養士 「知っていた」100.0%。

各職種とも高い認知率となりましたが、特に栄養士・管理栄養士において100.0%の認知率が見られたことは、驚きであり、嬉しい結果となりました。

本学会への出展は、協議会設立(2002年)以降、

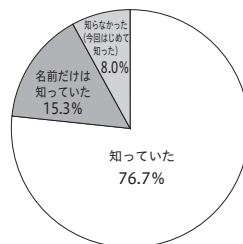
続けております(初出展は第8回の同学会)、毎年の地道な活動がこの結果を作ってきたという実感が持てます。

協議会では、今後利用者の方々へ正しく情報を伝えていただける専門職種のみなさまへも積極的に情報発信を継続してまいります。

会 期：平成30年9月8日(土)・9日(日)

会 場：仙台国際センター(仙台市)

来場者数：約5,700名(主催者発表)



UDFとは何かご存知ですか？



企業展示会場の様子

【会議、催事等の予定】

11月22日(木) 第4回業務用WG(本会会議室)

11月30日(金) UDF 試食会(ホテルメトロポリタンエドモント)

【UDF 商品登録状況(1,976品目・9月末現在)】

	区分1	区分2	区分3	区分4	とろみ調整	合計
乾燥食品	0	4	12	0	90	106
冷凍食品	304	240	710	30	0	1,284
常温食品	146	134	185	120	1	586
合 計	450	378	907	150	91	1,976

【会員の異動(9月)】

新規加入会員1社：(株)高南食品

計78社(9月末現在)。

◎日本介護食品協議会では会員企業を募集していません。協議会とユニバーサルデザインフードについては事務局までご連絡ください。

事務局：東京都千代田区神田東松下町10-2

翔和神田ビル3階

TEL 03-5256-4804

FAX 03-5256-4805

<http://www.udf.jp/>